

## ◎パネルディスカッション

「いま、なぜピアサポートなのか－未来へ向けてのメッセージ」

### ■図書館資料と人との出会いのコーディネーターとして

パネリスト：中山玲子（日野市立中央図書館）

#### 1 図書館で働いて思うこと

- ①障害者サービス、このままの姿で進んでいいのか？
- ②だれのための図書館なのか？
- ③視覚障害者だからといってそのままピアサポートができるのか？

#### 2 視覚障害者と図書館の仕事～ピアサポートという観点から

①これまで日野市立図書館で行ってきたピアサポートの事例から

- ・ 図書館内における地道な基盤づくりの重要性
- ・ 「図書館は命の泉」と語ってくださった盲ろう者 A さんとの関わり
- ・ 「図書館は私の居場所」と語ってくださる全盲の B さんとの関わり
- ・ 様々なマイノリティの立場で生きる C さんとの点字を通じた文通

によるサービス

- ・ 人生の終りの日を見送った D さんへのサポート
- ・ 一人の小学生からもらったメモ用紙に書かれた絵

## ②ピアサポートを行う視覚障害図書館員に必要なこと

- ・ 図書館資料に関する知識
- ・ 障害・貧困・虐待・LGBTQ 等様々な環境や立場で生活している人

たちにいつも心を寄せている

- ・ 情報機器、情報入手に関する知識
- ・ 個別対応に対する柔軟な発想
- ・ 主体性
- ・ コミュニケーション力アップ
- ・ 個々の利用者に対して思い込みを外して関わる
- ・ 図書館全体を見渡し把握する力
- ・ 関連機関とのつながり

## ③今感じている課題